

2005年(平成17年)の研究活動

論文

3月 「租税回避行為の否認と租税法律主義」 専修大学法学研究所編『公法の諸問題 紀要30』67頁以下所収(専修大学法学研究所、2005年)

4月 「租税法務学会理論研究(通算第141回) 租税判決事例研究の意義と有用性—ロースクール時代の到来と租税法研究」税務弘報5月号65頁以下(2005年)

6月 「給与所得者の権利救済手続」『新・裁判実務体系18 租税争訟』(青林書院、2005年)

8月 「巻頭論文 最近の租税調査をめぐる紛争の動向と課題—適正な租税調査の実現を求めて」税理48巻11号2頁以下(2005年)

10月 「利子所得の意義」租税判例百選[第4版]58頁(2005年)

学会活動

6月 第95回日本税法学会研究総会にて、シンポジウムの総合司会を務める。

10月 租税法学会研究総会に参加する。

10月 租税法務学会第3回研究総会にて、『所得税の構造と租税法上の問題点』と題して研究報告を行う。